

「原発を考える」ビデオ上映会

京都大学原子炉実験所 小出浩章さんのインタビューを上映し、
そのあと参加者どうしで自由な意見交換、質疑応答を行う予定です。

小出浩章 「フクシマの現実と責任」

福島原発で何が起きているのか —その5— (DVD)

(制作・著作 森の映画社・影山事務所)

日時 2012年6月16日(土) 14:00-16:00

場所 森町町民生活センター 2F 集会室 (町役場東隣り)

役場駐車場が満杯の場合は、役場東の森町保険福祉センターの駐車場
をご利用できます。参加費(資料代など)200円。

小出さんには2004年と2006年に浜松に来て頂き、原発震災の可能性と一旦起こればどうなるか、また原発なしでもこの国はやって行けるのかについて非常にわかりやすいお話をさせていただきました。その時はまだ、原発が重大事故を起こすかもしれないと心配する人はごく少数でしたが、6年後フクシマで小出さんが予言されたとおりのことが本当に起こってしまいました。それが浜岡であったら私たちはどうなっていたことでしょうか(裏面参照)。

私どもには福島の方々の犠牲のおかげでこの国の本当の安全とは何かを考え直す時間があたえられました。この機会にもう一度小出さんのビデオを通じて今回の原発震災の原因と実態をみなおし、今後どうすれば良いかについて考えて見ようではありませんか。

ふるってご参加ください。

主催 原発を考える森町有志の会 連絡先 0538-85-1650

森植物生理研究室

外部被ばくによる実効線量

日時 = 2011/04/01 09:00 - 2011/04/02 09:00 の積算値
 気象データ = GPV+観測値 (2011/04/02 09:00) まで

演算 4号伊 立地図
 核種名 = Cs-137
 対象年齢 = 成人



放出地点 : 138°08'58" - 34°37'01"
 領域 : 52km x 52km

- 【凡例】
 実効線量率等値線 (Sv/h)
 1 = 1.00×10^{-17}
 2 = 1.00×10^{-18}
 3 = 1.00×10^{-19}
 4 = 1.00×10^{-20}
 5 = 1.00×10^{-21}

最大線量 = 5.24×10^{-17} Sv/h
 放出地点から (1-1,0,0,7) km (400)

計算モデル名 = FRESA21
 使用モデル名 = 通常モデル
 【計算条件】
 計算メッシュ幅 水平方向 = 1.00 km
 放出高 = 100.0m
 気密度 = 20000 kg/m³
 原子炉停止時刻 = 2011/04/01 09:00
 放出開始時刻 = 2011/04/01 09:00
 放出モード = 定数放出
 放出核種・放出率 (積算) : Bq/h (Bq)
 セシウム 5.00×10^8 (5.00×10^9)
 ヨウ素 5.00×10^8 (5.00×10^9)
 Cs-137 1.00×10^8 (1.00×10^9)

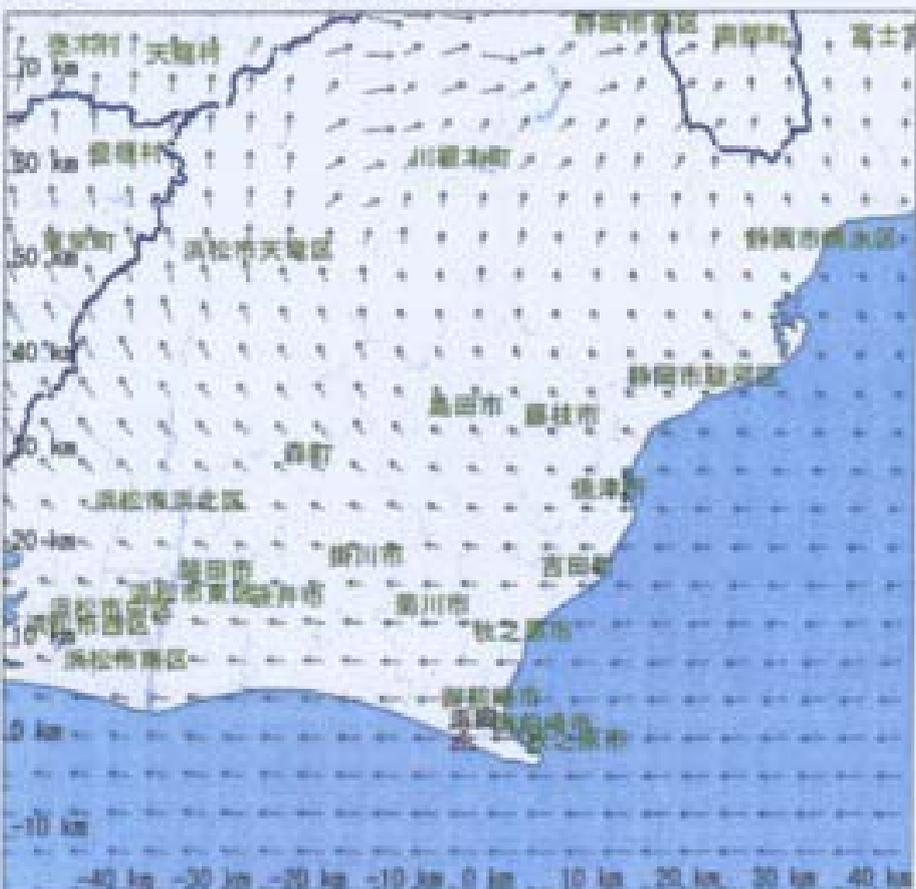
この予測は実際の放射線量分布を
 表しているものではありません。

新潟県環境管理課 放射線管理課
 110401024
 SP0501 1129 4746 J17 A 25版 No. : 55858
 Ver. 1.00

風速場 (地上高)

日時 = 2011/04/01 09:00
 気象データ = GPV+観測値 (2011/04/02 09:00) まで

演算 立地図



サイト中心 : 138°08'58" - 34°37'01"
 領域 : 52km x 52km
 表示高度 = 100.00 m
 サイト中心付近の風 : 速 2.7 m/s
 大気安定度 : D
 計算モデル名 = FRESA21
 計算メッシュ幅 水平方向 = 2.00 km
 【凡例】
 標準風速
 → 5 m/s

新潟県環境管理課の
 ホームページに掲載された
 2011年4月1日から2日までの
 気象条件に基づき、スーパー
 によって(非常に強い西の風
 の吹き上げに)渡田原発
 からの汚染の拡散を抑制し
 した図。

2月の記者発表会では公表され
 なかったデータです。
 110401024